

設問

50分

[問い1] 今更、下ら どの様な質問が出来ますか

- 1) 「(今回の昇進が) 納得いかなり条件」とは、どの様なことでしょうか?
- 2) 「(営業事務の仕事を) 割り切った」というのはどういうことでしょうか?
- 3) 「役割が違う」「自分とは違う仕事」とはどういうことでしょうか?
- 4) 「(20代の時) 営業をかけた」とことをどの様ににお話しされましたか?
- 5) 「今の会社を辞めずに20年以上勤務しているのは何故ですか?
- 6) 会社の女性で管理職に就いている方はどのような方でしょうか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

良かった点
事例IのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者が昇進の話に関して「今更、納得いかなり条件」と思っている一方で「どうでしょうか」と思っていると思われ、気持ちを受け容れ、傾聴することができた点。

悪かった点
事例IIのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者が「今後(これから)」についての話をしたのに、20代の時の同期との話など過去の話が多くなってしまい、その結果事実確認が留まった点。

[問い3] CLの主旨

冒頭では「上司から昇進の話があったが、今更、納得いかなり条件であり」と感じ相談に来られた。しかし、お話しを伺っていると、「会社の都合で女性の管理職」との発言があり、会社に対して不満を感じているように見受けられた。会社が何故相談者を昇進させようとしているかということや営業の仕事に対して、理解不足の状況にあるのか現時点での主旨だと思う。

[問い4] 今後の展開 (今後どう進めようか)

入社してから20年以上営業事務の仕事を元々やってきた相談者を労い、傾聴しサポート形成を図る。そのうえで、会社が何故相談者を昇進させようとしているのか上司向けではなく人手等に確認したり、場合によっては会社が女性管理職に求める役割に関して確認し、正しい判断が出来るようになる。また、自身のキャリアの棚卸しを行うとともに、営業か管理職として進むべきかについて内容を促す。最終的には相談者自身が昇進を意思決定できるように支援する。